

10火, 11水

講義 主の祈り 永井 学院長

「主の祈り」が、実際に何を祈っているのかを中心に、「祈り」について学びます。「祈り」をテーマにしたメッセージの実践などもあります。

12木, 13金

講義 聖書交読

聖書を一人一節づつ輪読します。



17火, 20金, 24火, 25水

講義 伝道実践

主に、近隣の町での教会案内やトラクト等の配布、訪問伝道、関係づくりなどを行います。その他、介護施設やカフェ、イベント等での伝道ライブも行います。

18水, 19木

講義 聖書の教えるキリスト者像 永井 学院長

キリスト者としてどうあるべきか、聖書にはどのように書いてあるのか、聖書の教えるキリスト者像について学びます。



26木, 27金

講義 ヨハネの福音書 蟹田 寛師

四つの福音書のうち、共観福音書とは一線を画す「ヨハネの福音書」について学びます。



学院長のデスクから

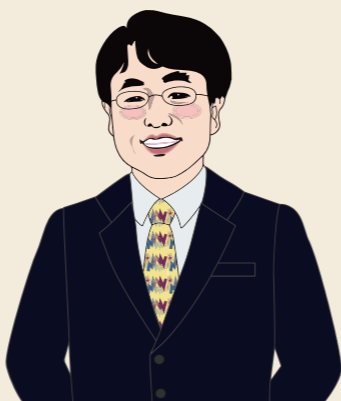
新年あけましておめでとうございます。

いつも私ども学院を覚えてくださり、また、さまざまな形でのご支援をくださっていますこと、心より御礼申し上げます。

この年、「聖霊に励まされて前進し続けた」（使徒の働き 9 章 31 節）最初の教会のように、私たちの歩みのすべてが導かれることを心から願っております。ぜひ、引き続きお祈り、ご支援のほど、よろしくお願ひいたします。

皆さまの新しい一年が主よりの祝福と実りにあふれたものとなりますように！

学院長 永井信義



編集後記

ハレルヤ!!新しい年を迎え、新年号を無事に発行出来た事を感謝します!!

今年も、新年号恒例の「漢字一文字で表す一年の抱負」を掲載させて頂きました。私は「赦」という漢字にしましたが、実はもう一つ別の漢字と迷っていました。それは「余」です。これは、「キリスト者の霊性」という講義でテキストとして使用していた『あなたがずっと求めていた人生』という本の「急がない生活 — “ゆっくりする” 訓練」という章から私が受け取ったことです。私たちは、日々忙しく、何かと急いで生活していると思いますが、この本には、急ぐことは「霊的生活の最大の敵」と書いてありました。（これは私も衝撃的でした。）また、「神とのつながりが分断されるほど、愛を必要としている人に愛を与えられないほど、忙しく働いてはならない」とありました。

急ぎ病の最も深刻な症状は、愛せなくなることです。余裕が無いと優しくなれませんが、愛することが難しくなります。愛すべき人を愛せなくなります。だから日々の生活の中に、人生に余白(余裕)をつくる必要があります。いわゆる「遊び」の部分です。自動車のハンドルなどにも「遊び」があるように。そして、神様の創造の業にも「遊び」があります。例えばこの世界には、無駄とも、無意味とも思えるほど綺麗で色鮮やかな昆虫がいます。それは、神様のクリエイターとしての、「遊び」の部分と言えるのではないのでしょうか。

この一年、愛すべき人を愛せるように、時には立ち止まって神様の業に目を留め、ひと思いにふけったり、何より神様との親しい交わりの時間を持てるように、「余白」や「余裕」「遊び」の部分をつくっていきたいと思います。

東海林 真



Kakudai Mission Institute No.341

Magnify

拡大宣教会 機関紙 マグニファイ

Have A Blessed Year!!

生涯一番頭

イエス・キリスト福音の群 東北中央教会 谷後 義則 師

1980年 茨木キリスト教会 週報掲載「長老のひとりごと」

もう名前も忘れてしまったが十年くらい前、他教会の信徒で大変威勢のいい若者が教会に来るようになった。集会日には来たが、ふつうの日は夜になってからよく訪ねて来た。お隣の摂津市にある市場で働いていて、路傍伝道（路上での集会案内で、今の路上ライブのようなもの）から導かれてきたと記憶している。当時私は京阪神一円で、市場、スーパー、デパートなどを回り、店頭で宣伝販売をしていた。時々彼のいる市場にも行ったことから話をする機会も多くなり、心おきなく何でも打ち明けてくれるようになっていた。

ある夜、彼は二人の友達を教会に連れてきた。そして持前の大阪弁で私を彼等に紹介した。「あのな、この人は牧師さんやないさかい、そう固うならんかてええ。長老さんて言うてな、まあ、はよ言うたら、この教会の番頭はんみたいなものや。」……恐れ入った。教会で番頭呼ばわりされたのは、この時が最初で最後である。でも正直言って嬉しかった。

市場の入り口に立って物売りをしている私を見て親近感を覚え、悩みを持つ友を気さくに教会に連れてくる気になったのであろう。日本人がキリスト教会に対して抱いている偏見に満ちた考え方は今でも一向に改まっていない。毎年11月3日に教会のバザーがある。婦人会員が一年がかりで作成した手芸品を中心に日用品、衣類などが大々的に販売されるが、当日教会まで足を運んでいただくため、教会周辺に住んでいる方々に食券の前売がなされる。中でも持ち帰りが利き、量産できる折詰のちらし寿司は欠かせないものである。昨年のバザーに教会員のSさんの職場の方数人が来られた。翌日会社で会った時「チョットー、キリスト教会でもお寿司やぜんざいもあるのねー。私は教会ならサンドウィッチと紅茶かと思った」ですって。これでは外国人の宣教師でも居ないと教会ではないみたいになる。私が教会に行き始めた

のは、もう20年も前のことである。その時私は呉服屋の店員をしていた。日曜日の夕方になると教会から路傍伝道隊が商店街にやってきた。

外商に出た振りをして私もそれに加わり、自分が神によって変えられた体験を話した。ある日ついに主人に見つかり、「伝道は専門の牧師に任せておけ」と大目玉をくらった。

説教でもしていたと勘違いしたのだろうか、私はただ自分の身に起こった体験を話していたのである。これならクリスチャンなら誰でもできる。訪問する得意先でも仕立て屋でも、どこに行っても話した。その結果、少なくとも20名ばかりの人が教会に導かれ神を信じた。救われてまだ1年も経っていない時である。

思うに牧師は羊飼いであり、信徒は羊である。羊を産み出すのは羊（信徒）の仕事である。プロ野球、南海ホークス（現：福岡ソフトバンクホークス）の元監督・野村克也氏の有名な言葉に「生涯一捕手」がある。自分の成すべき分を知り、生涯かけてそれに徹した人の言葉だ。私も一信徒として神の教会の「生涯一番頭」を勤めあげたい。

これは今から35年前、私が大阪、茨木キリスト福音教会の長老時代、教会の週報に、「長老のひとりごと」として掲載されたものです。この記事に出てくる野村克也氏は、その後、東北楽天の監督となり、現在は名誉監督・野球評論家として活躍中。（今年81歳）

90歳シスター渡辺和子さんの著書『置かれた場所で咲きなさい』そのままに。



当時の谷後氏家族写真  
茨木キリスト福音教会前にて撮影



現在の茨木キリスト福音教会

CONTENTS

巻頭メッセージ

生涯一番頭

谷後 義則 師

漢字一文字で表す  
2017年の抱負

BOOK あらかると



2017 Jan.

# 漢字一文字 で表す 2017 年の抱負

今年も、一年の抱負をそれぞれ漢字一文字で表しました。

御言葉からの一文字や、個人的に示された一文字など、個性豊かに書き表して頂きました。

## 仰

東北中央教会 主事  
木原 成美

「私はあなたの仰せを喜びとします。それは私の愛するものです。私は私の愛するあなたの仰せに手を差し伸べ、あなたのおきてに思いを潜めましょう。」

(詩篇 119:47,48)

どんな時でも神様の言葉に信頼して、本気で御言葉に生きるものになりたいです。

## 今

研修生 川津 智美

「見よ。わたしは新しい事をする。今、もうそれが起ころうとしている。あなたがたは、それを知らないのか。確かに、わたしは荒野に道を、荒地に川を貫を設ける。」

(イザヤ 43:19)

先が見えないで進むのは、とても不安だと思います。しかし、主が『信頼して、前に進みなさい。』と語って下さいました。主の約束だけを握り締めて、この年も一歩ずつ歩みます。途中で転んだとしても、主にすがり、主の勝利を宣言して参ります!!

## 渡

研修生 中山 愛希子

明け渡す、渡す、渡るの意味が込められています。

〈明け渡す〉主権を神様に明け渡す。自分で人生をコントロールせず聖霊様に委ねることができるようにになりたいです。

〈渡す〉信仰を誰かに渡していく。信仰を分かち合うことや継承していく。そして、人と人とを渡す役割もしたいです。

〈渡る〉出て行って福音を伝えることや世界でも国内でも行く機会があればどこでも行けるとは行きたいです。

## 参

第二四期生 中山 孝弘

主よ私はあなたの前に降参し、あなたの御言葉に従い、何処へでも参ります。

## 勇

拡大宣教学院 スタッフ  
中村 美保

「わたしがこれらのことをあなたがたに話したのは、あなたがたがわたしにあって平安を持つためです。あなたがたは、世にあっては患難があります。しかし、勇敢でありなさい。わたしはすでに世に勝ったのです。」(ヨハネ 16:33)

「世に勝つ者とは誰でしょう。イエスを神の御子と信じる者ではありませんか」(1ヨハネ 5:5)

世界情勢を見ると、不安材料ばかりのように見えます。しかし、このような情勢の中でも常に目を覚まし、平常心を保ち、勇敢であることが求められていると思います。そのように一年を過ごしていきたいです。

## 協

研修生 地主 真由美

「私たちは神の協力者であり、あなたがたは神の畑、神の建物です。」(1コリント 3:9)

私は神のもの!心から感謝します。神様の協力者として歩みます。どうか主よ、天の視点を教えてください。神様のまなざしを教えてください。いただきながら、神様の御声に耳を澄ませて聴きながら、ただただお従いしたいです。

漢字一文字で表す 2017 年の抱負

## 近

第二四期生 倉持 守

「幸いなことよ。あなたが選び、近寄せられた人、あなたの大庭に住むその人は。私たちは、あなたの家、あなたの聖なる宮の良いもので満ち足りるでしょう。」

(詩篇 65:4)

主の恵み、招きに感謝をもって仕え、主から離れずに歩みたいです。

## 赦

第二四期生 東海林 真

自分を赦す事が出来なければ、他人の事も赦す事が出来ないと思います。何より主ご自身が、生きることも、楽しむことも、主に近づくことさえも、その愛によって赦してくださっています。自分を含め、全ての人を。その赦しをしっかりと受け取り、自分の事も、他人の事も、もっと赦し、愛していく一年にしたいです。

## 平

第二六期生 掛端 舞子

「わたしはあなたがたのために立てている計画を良く知っているからだ。- 主の御告げ - それはわざわざいではなくて、平安を与える計画であり、あなたがたに将来と希望を与えるためのものだ。」

(エレミヤ 29:11)

神様の計画は良いものであり、希望に満ちている。

## 心

第二四期生 松本 侑香里

神様の心と私の心がひとつになるように、神様の思い、願いが自分の思い、願いとなるように、自分がどのような状況にあっても、私のすべきことは神様のみこころを行っていくことです! 神様の心がわかるように祈ります!

## 挑

第二五期生 佐藤 慎

昨年入学当初は、意気揚々と色々計画していたのですが、途中で辞めてしまったことや、始めることさえできなかったことがいくつかありました。なので今年にはさらに計画的に一つ一つ習慣付けていくことが出来たらと思い、この漢字にしました。

## 広

第二六期生 東海林 悦子

「私はあなたの仰せの道を走ります。あなたが私の心を広くしてくださるからです。」(詩篇 119:32)

2017 年は自分の力で進もうとせず、神様が行きなさいと言われる道を喜び楽しみながら、走ります! 私の心も神様に任せて、神様が私を広げて下さることを体験する一年にしたいです。

## BOOK あらがる



新しい年、まず読んでおきたいのが、左近豊著『祈り』です。日本キリスト教団出版局から出ている「信仰生活の手引き」シリーズ全 5 巻の最終回配本で、祈りについて、旧約聖書の祈り、そして、「主の祈り」から学ぶ一冊です。

「私たちは祈る時、もう己の霊的繊細さを研ぎ澄ませて、深き瞑想の内に言葉を探し求めなくてよいのです。むしろ解き放たれて翼を駆って大空に飛翔する鳥のように、祈りの向かう先におられる主に心を高く上げることへと開かれています。」

信仰生活に関してとにかくハードルを上げてしまいやすい私たちに、祈ること、そして、祈ることをとおして「神様に出会うこと、キリストとまみえること」の喜びを示す良書です。

示井信義

